

令和元年度(2019年度)

管理事業名	サッカースタジアム事業				総合計画の体系	大綱 7 都市魅力 政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり 施策 3 地域におけるスポーツの振興
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 39 サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名 サッカースタジアム事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)サッカースタジアム基金積立金 サッカースタジアム事業 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)スポーツ推進基金積立金 サッカースタジアム事業					
事業の目的と概要 プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的とした活動等へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行います。 スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、指定管理者である株式会社ガンバ大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金への積み立てを行います。 市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、同基金からスタジアム利用促進事業及びスタジアム周辺整備事業に一部充当することにより、スタジアムの利用料金を低減し市民等のスタジアムへの利用を促進するとともに、万博外周道路歩道カラー等舗装(第2工区)を実施し、スタジアム周辺の環境整備を行いました。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
プロサッカー入場者数	人	471,064	547,170	483,189	プロサッカーの試合(J1・Jリーグ、キリンチャレンジカップ、天皇杯、皇后杯等)の入場者数
その他入場者数	人	40,478	28,550	34,197	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業)の入場者数
成果の説明	当該スタジアムにおいて、プロサッカーの試合を2016シーズンより実施しています。令和元年度は、37日開催で483,189人でした。 また、プロサッカーの試合以外の利用は584件で入場者数は34,197人であり、総入場者数は、517,386人でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	1	1	0
その他	255,068	422,048	419,068	△2,980
経常収入 小計(a)	255,068	422,049	419,069	△2,980
経常費用				
給与関係費	21,873	24,013	22,016	△1,997
物件費	151,103	151,255	151,252	△3
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	27,075	135,259	112,203	△23,056
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	447,401	448,962	450,357	1,395
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,566	1,959	1,976	17
退職手当引当金繰入額	7,611	4,514	479	△4,035
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	656,629	765,963	738,284	△27,679
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△401,561	△343,914	△319,215	24,699
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	250,350	51,631	-	△51,631
特別収入 小計(d)	250,350	51,631	-	△51,631
特別費用				
固定資産除売却損	-	37,951	-	△37,951
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	37,951	-	△37,951
特別収支差額(d)-(e)=(f)	250,350	13,680	-	△13,680
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△151,211	△330,234	△319,215	11,019
一般財源充当額	25,576	27,668	26,168	△1,500
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△125,635	△302,566	△293,046	9,519

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	平成30年度、LED照明及び防犯カメラ設置工事完了のための減(平成30年度負担金:23,263千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	255,068	417,069	419,069	2,000
行政サービス活動支出	203,645	314,186	289,170	△25,016
行政サービス活動収支差額	51,424	102,883	129,899	27,016
投資活動収入	27,000	135,450	112,159	△23,290
投資活動支出	104,000	266,001	268,227	2,226
投資活動収支差額	△77,000	△130,551	△156,068	△25,516
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△25,576	△27,668	△26,168	1,500
一般財源充当額	25,576	27,668	26,168	△1,500
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動収入)スポーツ推進基金からの繰入の減 (投資活動支出)スポーツ推進基金積立金の増
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入場者数1人あたりのコスト	平成29年度	511,542 人	785 円	経常収入について、指定管理者から納入される土地賃借料等相当額は土地賃借料等として支出、大規模修繕積立金はサッカースタジアム基金へ積み立てています。またネーミングライツ料はスポーツ推進基金に積み立てています。上記のことから、経常費用から経常収入を除いた額で単位あたりのコストを算出しており、結果、入場者1人あたり617円のコストがかかっています。
	平成30年度	575,720 人	597 円	
	令和元年度	517,386 人	617 円	
	令和元年度		617 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,959	1,976	17
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,959	1,976	17
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	11,086,952	10,640,105	△446,847	固定負債	19,942	18,681	△1,260
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	11,086,952	10,640,105	△446,847	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	19,942	18,681	△1,260
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	21,901	20,658	△1,243
有形固定資産	-	-	-	純資産	11,279,369	10,916,830	△362,539
土地	-	-	-	重要物品	23,208	19,697	△3,511
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	191,110	277,685	86,575
重要物品	23,208	19,697	△3,511	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	191,110	277,685	86,575	基金	191,110	277,685	86,575
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	191,110	277,685	86,575	資産の部合計	11,301,270	10,937,487	△363,782
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	11,301,270	10,937,487	△363,782				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

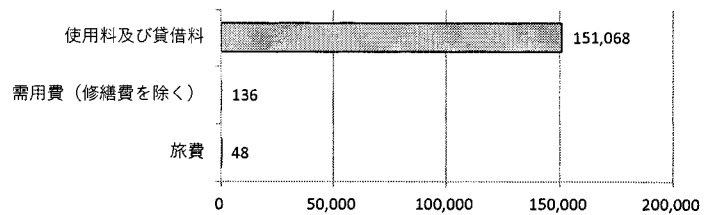
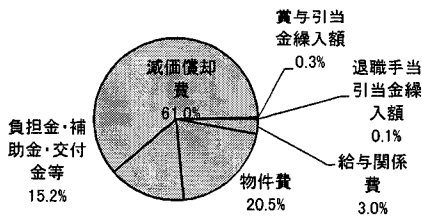
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	3人	人	日	人	24,472
給与関係費等	24,472千円	千円	千円	千円	24,472
内、時間外勤務手当	482千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
基金	サッカースタジアム基金による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	市立吹田サッカースタジアム
取得年月日	平成27年(2015年)9月30日 竣工
建物・工作物の取得価額	12,618,966 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,978,861 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		8.7	12.1	15.7	3.6
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		8.3	4.8	4.7	△0.1
経常費用対公共資産比率		5.2	6.1	5.9	△0.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

経常収入については、ネーミングライツ料が年額(218,000千円)となっています。ネーミングライツ料は、スポーツ推進基金に積み立てた後、利用料金低減負担金に109,000千円、また、スタジアム周辺整備に3,160千円の合計112,160千円をそれぞれに充当するため繰り入れられました。経常経費の20.5%である物件費については、99.9%がスタジアム土地賃借料等となり、その同額を指定管理者から納入されています。また、補助金・交付金等15.2%の主なものとしては、利用料金低減負担金に97.2%、スタジアム周辺環境整備負担金に2.8%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を積み立てたスポーツ推進基金からスタジアム利用促進事業に充当し施設利用料金を低減することにより、スポーツ活動のみならず地域振興やにぎわいの創出を目的とした利用を促進し利用者の増加を図るとともに、市のランドマークとなるような魅力ある施設となるよう、基金をより有効に活用し、引き続き、取り組む必要があります。